

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	スナック（経営者）	・新型コロナウイルス感染症が収束したことで、急速にこれまでの日常が戻ってきている。世の中が伸びていく時期だと思うので、何か新しいことでも始めようかと考えている。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染症の5類移行も浸透し、人の流れが次第に戻ってくる。物の値上げも一巡し、諦め消費が増えるのではないかと。
	○	スーパー（経営者）	・9月から新しい取引先が増えるため、やや良くなる。
	○	コンビニ（経営者）	・アフターコロナでの客の動きが活発なので、やや良くなる。
	○	乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の第9波が落ち着き、供給が更に増えれば、新車や中古車の需要は増加が見込まれる。
	○	一般レストラン（経営者）	・人の動きが出てくる。物価高慣れしてきた感はあるが、実際のお金の動きはそれほどではない。
	○	一般レストラン（経営者）	・地域イベントの復活傾向に伴い、人流が増えるのではないかと。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・コロナ禍明けにより、一気に外出や外食傾向が高まっており、予約状況は好調である。コロナ禍明けの特需を強く感じるが、今年度一杯はこの特需が続くような予約状況である。しばらくは好調に推移するものの、現実的な人手不足を解消し、特需に対応できるかがこの先の結果の鍵となる。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・5月8日以降、新型コロナウイルス感染症の5類移行で、月ごとに客の動きが良くなっている。客のマインドも上がっていて、個人、団体共に、動きが良くなっている。もうこれ以上下がることはないかと予想する。7月は売上のかなり良かったが、この先も今以上にやや良くなっていく。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・例年8月は、学生の大会が多く稼働率が上がる。現状、既に満室の日が多く、9～10月にも期待ができる。
	○	遊園地（職員）	・新型コロナウイルス感染症の5類移行後、一層万全な受入体制を整えるとともに、積極的な集客施策の実施や情報発信を行うことで、多くの来園客を期待する。
	□	商店街（代表者）	・今の様子から、少し古くなったから買換えるという感覚は余りなく、特別欲しい物であれば買うようになっていて、ほとんど通常と変わらない。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	・物が行き渡っているのか目新しい物もなく、消費意欲を引き出す要素がない。光熱費や食料品の値上げはまだ続き、他の商材の値上がりもみられる。先行きが不安定ななか、生活費の確保だけで目一杯の様子もうかがえる。
	□	百貨店（経理担当）	・今後は物価高の影響で、継続して消費は活発にならない。
	□	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症も落ち着いて5類に移行したので、回復傾向にあると思うが、物価高の影響があり、このところ、ガソリン価格も大分上がってきているので、回復とまではいかない。
	□	百貨店（店長）	・観光客数が増えてきているため、来客数は増えている。ただし、得意客の来店は増えていない。また、物の値上げが続いており、節約志向がみられる。
	□	コンビニ（経営者）	・いろいろな商材価格が上がっているものの、来客数が伸び悩んでいる分、やや横ばいで、コンビニ業界にとっては厳しい状態である。
	□	コンビニ（経営者）	・7月は少し売上が伸びているが、夏休みでもあり、これから客が動く。ただし、物価も上がってきているので、前年と同じくらいになるのではないかと。
	□	コンビニ（店長）	・ペースは変わらずに、行事等の開催によって若干プラスアルファがある形で、少しずつ良くなっていくのではないかと。
	□	衣料品専門店（経営者）	・変わるとは思えないし、分からない。
□	家電量販店（店長）	・一時的な猛暑のお陰で、景気回復しているため、先行きは変わらない。	
□	自動車備品販売店（従業員）	・メンテナンス関連のタイヤやオイル等の必需品は好調なものの、物価上昇の影響もあり、厳しい状況である。	
□	スナック（経営者）	・本当は良くなると回答したいが、このまま変わらないのではないかと。良くなる要素が1つもない。	

	□	スナック（経営者）	・8月に入ると、連休などもあり、毎年、売上が減少傾向となる。第1の課題は従業員の確保で、集客のためにもスタッフが必要になってくるため、まずはそこから改善していかなければいけない。
	□	観光型旅館（経営者）	・秋も個人客が多い時期なので、現状の新型コロナウイルス感染症発生前とほぼ同程度の売上が続くとみている。
	□	旅行代理店（副支店長）	・全国旅行支援が終了しても、この先の販売量は好調である。秋の行楽シーズンの申込みや旅行の相談は多く、客足が旅行に向いてきている。荒天による災害の影響は懸念材料ではあるが、好調のまま推移していく。
	□	タクシー運転手	・令和2年の新型コロナウイルス感染症発生前と比べて、乗務員は35名から30名に減少している。また、乗務員の高齢化によって、隔日勤務者も減少している。午後8時頃から夜間1時の時間帯に車が不足することが多く、新型コロナウイルス感染症発生前の売上にはなかなか戻らない。
	□	通信会社（社員）	・特に好転するような要因が見当たらない。ある程度他社との差別化を図った施策が必要である。
	□	通信会社（社員）	・販売量、来客数共に、自然に伸びる環境ではない。燃料費や原材料費、生活物資の高騰は続く。
	□	観光名所（職員）	・物価高の影響で何もかもが値上がりしていることから、財布のひもが固く、買い控えをしているように感じている。
	□	ゴルフ場（副支配人）	・予約状況から大きな好転が期待できないことに加え、ガソリンや電気代の上昇等、経費の増大も加わり、厳しい状況が続く。
	□	その他レジャー施設 [ボウリング場]（経営者）	・企業や団体の予約がもっと戻ってくるようであれば、回復が見込まれる。
	□	住宅販売会社（経営者）	・燃料費や電気代等の高騰分を顧客向けの価格に転嫁できないため、今後も厳しい収益状況が続く。
	▲	商店街（代表者）	・中心街への客足は、全く回復の兆しがない。
	▲	スーパー（経営者）	・物価上昇を容認しているものの、低価格と高品質、おいしいものへといった、支出のメリハリが鮮明になってきている。
	▲	コンビニ（経営者）	・最低賃金が上がることによって人件費が増え、今以上に売上を伸ばさないといけない。経費も今以上に掛かる予想で、物価高も止まらないので、良くならない。
	▲	その他専門店 [酒]（店長）	・ガソリン代が非常に高くなっていくという話がある。物価上昇が給料に反映されて、好循環が生まれればよいのだが、なかなかそういう循環が働くまでには時間が掛かる。アフターコロナも含めて、今は遠出や旅行をしたいという需要が多いのではないかと推測している。
	▲	高級レストラン（経営者）	・止まらない物価高騰が、いよいよ消費行動を抑えてくると危惧される。
	▲	その他サービス [クリーニング]（経営者）	・クリーニング業界は、原油価格の高騰に続き、電力価格高騰が一段と経営を圧迫し、困っている。
	▲	設計事務所（職員）	・完了物件も出てくるため、少し落ち着いてくる。
	×	*	*
企業 動向 関連 (甲信越)	◎	—	—
	○	食料品製造業（営業統括）	・今年も天候に恵まれ、ビンテージイヤーが期待できそうである。秋には円安に伴うインバウンド効果や輸出促進効果も出てくるものとみられる。
	○	金属製品製造業（総務担当）	・半導体需要が回復し、やや良くなる。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・イベント関係や季節商材の受注がやや増えている。試作案件も出てきている。
	○	その他製造業 [宝石・貴金属]（経営者）	・国内の景気やマーケットは依然として回復していないが、海外バイヤーとの取引や、香港の展示会出展時の海外バイヤーへの販売は好調なため、宝飾売上全体の底上げにつながるのではないかと推測している。
	○	金融業（経営企画担当）	・外国人観光客の増加による好効果が期待できる。
	○	新聞販売店 [広告]（総務担当）	・物価上昇も落ち着き、旅行業を中心に前年と比べて需要が増えるのではないかと推測している。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・夏休みのワークショップ客に期待感はあるものの、予約状況等には余り動きがない。

	□	建設業（経営者）	・仕入価格と値上げ価格のバランスは取れているので、景気は大きくは変わらない。
	□	金融業（調査担当）	・製造業は電子部品関連等での在庫調整の動向次第だが、もうしばらくは弱い動きが続くとみられる。非製造業は観光関連業で、夏季需要が底堅く推移する見込みである。
	▲	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・紙代の値上げ等に伴い、8月から封筒類を値上げする。前年から2度目の値上げであるが、値上げによるマイナス分を取り返すのは大変である。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	・エネルギー価格や生活必需品の価格上昇に加え、人々の消費行動がモノからコトへ変化し、耐久消費財への支出が減ってきている。
	▲	電気機械器具製造業（営業担当）	・使用する部品の値上げがすごいことになっているものの、販売価格には反映できていない。
	×	食料品製造業（製造担当）	・現状に加えて、最低賃金の改定が一層追い打ちを掛けてくる。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月の資金繰りが大変である。
雇用 関連	◎	—	—
	○	—	—
(甲信越)	□	人材派遣会社（営業担当）	・地方ではこれからボーナスが支給される企業も多いものの、余り期待はできない。消費には向かないだろう。
	□	職業安定所（職員）	・物価高騰の影響もあり、景気回復は見込めない。
	□	職業安定所（職員）	・人手不足による生産量の回復遅れや、今後も光熱費、原材料の価格高騰が続くと見立てから、景気が良くなるとは思えない。
	□	民間職業紹介機関（経営者）	・円安により原材料やガソリン等の価格が高止まりしており、現場技能者以外の採用への影響が続くとみている。
	▲	求人情報製作会社（総務担当）	・製造業やサービス業が悪くなっているため、やや悪くなる。
	▲	職業安定所（職員）	・業績が上向いての増員というよりは、コロナ禍で縮小した体制を新型コロナウイルス感染症発生前に戻すといった傾向が大きい。中小企業においては、物価高騰のダメージやゼロゼロ融資の返済開始の影響が懸念されるところである。
	×	—	—